

周辺住民に対する情報提供の実施状況について

京都大学複合原子力科学研究所

京都大学複合原子力科学研究所では、周辺住民に対する情報提供を以下のとおり実施している。

・自治体への報告等

大阪府、地元自治体の条例等により設置されている大阪府原子炉問題審議会、熊取町原子力問題調査特別委員会、同原子力問題対策協議会、泉佐野市原子力問題対策協議会において、研究炉（KUR）及び臨界集合体（KUCA）の運転状況や周辺環境の放射能測定結果の定期的な報告等を行っている。

令和2年度の実施状況は以下のとおりである。

令和2年7月27日 熊取町原子力問題対策協議会

令和2年7月30日 泉佐野市原子力問題対策協議会

令和2年8月11日 大阪府原子炉問題審議会

・web ページによる情報提供

研究所の web ページ（「一般・地域社会の方へ」<https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/visitor/public>）において、研究所の施設の概要、安全管理、災害対策の実施状況等について、広く情報提供を行っている。また、研究所内で発生した事故、トラブル情報は研究所 web ページへ掲載することで情報提供を行う体制を構築している。

・広報誌による情報提供

研究所が発行する広報誌（アトムサイエンスくまとり、年2回発行）において、安全管理を含めた研究所の活動の情報提供を行っている。

・LINE による情報発信

2021年より LINE 公式アカウント「京都大学 複合原子力科学研究所」を開設してイベントや研究成果等の情報を発信している。トラブルが発生したときの情報発信にも活用する予定。

・原子力災害医療について

原子力災害医療における国及び地方公共団体等との連携、事業所内で発生した傷病者に対する初期対応等については、「大阪府緊急被ばく医療活動マニュアル」（<http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/3072/00000000/hibakuiryomanyuaru.pdf>）にて明確にされている。

以上